

みどりっち号
市バス「有松12系統(支線)」

ドニチエコきっぷや
敬老パスなども使える!

緑区観光ルートバス MAP

緑区マスコットキャラクター
みどりっち

市バスに乗って緑区の魅力を発見!
緑区の観光スポットである鳴海・大高・有松・桶狭間地区を通る市バス路線の沿線観光マップです。このマップではそれぞれの地区のおすすめスポットをご紹介します。ぜひ市バスを利用してゆったりと緑区の魅力を感じてください。
※詳細は裏面をご覧ください。

芭蕉の足跡 鳴海エリア

東海道の宿場町であった鳴海のまちと芭蕉ゆかりの史跡を巡る

1～7の地図情報は裏面の鳴海エリアをご参照ください。

1 高札場

江戸時代、東海道鳴海宿(現在の本町交差点北東の角)にあり、法度類などを民衆に周知する制札を掲示した。平成21年に復元。

2 誓願寺芭蕉堂

1573年創建。西山浄土宗。千代倉家の菩提寺。芭蕉最古の供養塔(市指定文化財)は、1694年、如意寺で建碑された後、永井士前(永井荷風の曾祖父)により移転された。同時に細根山の芭蕉お手植えの杉古木で彫刻された芭蕉像を収容する芭蕉堂が建てられた。

7 千鳥塚

1687年、鳴海六俳仙の寺島安信宅で「星崎の間を見よとや啼く千鳥」の歌仙が完成したのを記念して建てられた。(市指定文化財)

碑文は芭蕉の直筆といわれ存命中唯一の翁塚です。

3 天神社(鳴海城跡)

成海神社はこの場所に創建され、1394年、安原備中守宗範が鳴海城を築城する際に移転した。鳴海城は桶狭間の戦いの時、岡部元信が城主で落城せず、合戦後に今川義元の首と交換で明け渡した。境内に3つの芭蕉句碑がある。

4 瑞泉寺

1396年創建。曹洞宗。「曇華峰」の雄大な字体のある山門は中興時に宇治の黄檗宗万福寺の総門を模したといわれる県指定文化財である。法堂の裏に龍王堂があり、蛇にまつわる龍王伝説がある。

5 善照寺砦跡

桶狭間の戦いの際に織田信長が鳴海城を囲むように築いた三砦の一つ。合戦に先立ち兵を集め、本隊が駐留していると見せかけて幟・旗を残して密かに桶狭間へ奇襲をかけたといわれている。

6 成海神社

686年創建。日本武尊、宮賀媛命、建稲種命を祀っている。境内に「初秋や海も青田のみどり」の芭蕉句碑がある。

7 千鳥塚

1687年、鳴海六俳仙の寺島安信宅で「星崎の間を見よとや啼く千鳥」の歌仙が完成したのを記念して建てられた。(市指定文化財)

神話に彩られたまち 大高エリア

古代を彩る神社をはじめ、戦国城下町の名残をとどめる町並み、酒蔵を巡る

8～14の地図情報は裏面の大高エリアをご参照ください。

8 JR大高駅

明治19年3月、県内で武豊、半田、亀崎、緒川、熱田とともに最初に設けられた鉄道駅。

9 秋葉社

祭神は火之迦具土神。昔大高町は火事が多く、防火の神の御霊をお招きして祀ったといわれている。江戸時代には多くの市がたち、にぎわった。この付近は「辻」と呼ばれ、大高の中心であった。

10 酒蔵のある町並み

大高の酒造りは江戸時代のはじめから盛んとなり、知多酒として江戸で評価を高めた。

11 大高城跡

桶狭間の戦いでは今川方の守りは船殿長照。松平元康(後の徳川家康)による「大高城兵糧入れ」は有名。堀の一部などが残り、昭和13年、丸根・鷲津砦跡とともに国指定の史跡に。

12 鷲津砦跡

今川方の大高城に対して、織田側が築いた砦。桶狭間の戦い直前に朝比奈泰朝率いる今川軍により落とされた。

13 丸根砦跡

今川方の大高城に対して、織田側が築いた砦。桶狭間の戦い直前に松平元康率いる今川軍により落とされた。

14 氷上姉子神社

195年創建。熱田神宮の摂社。日本武尊と結婚した宮賀媛命は、尊の死後、草薙剣を守護し、晩年におよんで熱田に宮居を定め、神剣を奉った。

大高駅に下車後、市バス緑巡回に乗り換えて折戸に下車

現在大高には神の井酒造・萬乗醸造・山盛酒造の3軒の蔵元があります。神の井酒造と山盛酒造は、事前申込で見学が可能です。

ここが熱田神宮の発祥の地とされています。

緑区散策に便利な市バス路線 市バス有松12系統(支線)

運行日 土・日曜 休日

運行概要 運行時間…9時台～16時台
運行本数…各日8往復

ご乗車にはお得なドニチエコきっぷ(大人600円、小児300円)、敬老パスなどもご利用できます。詳細は下記までお問い合わせください。

凡例
有松12系統(支線)
有松12系統(本線)
停留所

発行 名古屋市交通局乗客誘致推進課
TEL 052-972-3928/FAX 052-972-3817

名古屋学院大学(社会連携センター) 地(知)の拠点
緑区観光推進協議会
(事務局/名古屋市長緑区役所地域力推進室)
TEL 052-625-3878/FAX 052-623-8191

東海道と町並み 有松エリア

重伝建に選定された歴史ある町並みを巡る

15～23の地図情報は裏面の有松エリアをご参照ください。

15 有松・鳴海絞会館

昭和59年に、有松絞商工協同組合が建設。絞りの歴史や技術を学ぶことができ、実演も見ることができる。

16 重伝建の町並み

平成28年7月に愛知県で2番目の重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定された。
※重伝建とは、特に価値が高い町並みを文化財として国が選定するもので、これまでに全国で14地区が選定されている。(平成29年2月23日現在)

17 竹田庄九郎碑

1608年、知多の阿久比庄から移ってきた庄九郎らがこの地で絞りの技法を考案したといわれている。碑は昭和7年にその功績をたたえて建てられた。

18 有松山車会館

「布袋車」「唐子車」「神功皇后車」の三輛の山車のうち一輛を順番に展示している。
●入館料:200円
●開館時間:10:00～16:00 土曜・日曜・祝日のみ開館

19 服部邸

有松を代表する建物で、屋号は井桁屋。創業は1790年とされ、有松の町家建築の特徴のすべてを備えた建物。(県指定文化財)

20 竹田邸

江戸期と思われる塗籠道の主屋を中心に、西側に賓客用の玄関、東側に土蔵群がある。(市指定文化財)

21 岡邸

江戸時代末期の建築。重厚な絞り間屋の建築形態をよく残り、一棟の建造物としては有松で現在一番大きい。特に軒下の塗籠造の美しい波型(のたれ造り)が特徴。(市指定文化財)

22 小塚邸

江戸時代後期の建物で、明治期まで絞り間屋を営んでいた。どっしりと大きく立派な有松の絞り間屋の形態をよくとどめている。(市指定文化財)

23 一里塚

街道の両側に1里(約4km)ごとに土を盛り、道のりの目標とした塚のこと。平成24年に平成の「有松一里塚」としてよみがえった。

信長・義元と駆ける 桶狭間エリア

桶狭間の戦いゆかりの史跡を巡り、歴史を辿る

24～32の地図情報は裏面の桶狭間エリアをご参照ください。

24 戦評の松

今川方の瀨名氏俊がこの松の下で戦いの評議をしたといわれている。また旧暦の5月19日、今川義元の亡霊が真夜中に白装束で白馬に乗って現れるとの伝説がある。

25 長福寺

1538年創建。ここで今川方の首の検証が行われたといわれている。今川義元と家臣の松井宗信の木像が安置されている。

26 瀨名氏俊陣地跡

桶狭間の戦いの2日前、今川軍の先発として、瀨名氏俊軍がここに着陣し、義元の本陣を設営した。

27 おけはざま山

1560年5月19日、この山に今川義元が本陣を置いたと伝えられている。信長は今川軍を急襲し、義元の首を討ち取り、戦いに勝利した。

28 桶狭間古戦場公園

織田信長が今川義元に勝利したといわれる地にできた公園。信長と義元の銅像「近世の曙」がある。

織田方・今川方の進軍ルートや城・砦などを再現した「シオラマ風公園」になっています。

29 七ツ塚

桶狭間の戦いで勝利した織田信長に命じられ、村人が東西に七つの穴を掘り、戦死者を弔う塚を作ったと伝えられている。

30 桶狭間神明社

天照大神を祀っている。桶狭間の戦いの際、瀨名氏俊が戦勝祈願したとされている。宝物に奉納した酒桶がある。

31 釜ヶ谷

中島砦から進撃してきた織田軍がこの釜ヶ谷に潜んで、突撃の機会をうかがっていたといわれている。現在は大学の構内。
※無断で大学の敷地内への立入りはご遠慮下さい。

32 高根山

桶狭間の戦いで、今川方の先陣、松井宗信軍がこの地に着陣。織田方の佐々、千秋軍と激戦が行われた。